

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室でも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

『だいちゃんときんたろう』

作/花山 かすみ
出版社/PHP研究所

幼稚園の相撲で負けてばかりのだいちゃん。すると、ダンスの上にいる金太郎が稽古をつけてくれることになって…。こどもの日にぴったりの絵本です。



『とびだす世界地図帳』

著/アニータ・ガネリ
絵/スティーブン・ウォーターハウス
出版社/大日本絵画

飛び出す地図の上には、有名な建物や植物などが並び、めくったり回したり引っ張ったりすると、解説文がでてきます。本で世界を旅してみませんか？



『家族でおでかけ九州'17-'18』

出版社/昭文社

遊園地や動物園など、子ども連れで楽しめる九州エリアの施設を多数紹介。ハウステンボス、うみたまご、グリーンランド、ハーモニーランドなどの人気スポット情報が満載です。連休の予定はお決まりですか。家族のレジャー計画に、ぜひどうぞ。



『かあさんの暮らしマネジメント』

著/一田 恵子
出版社/SBクリエイティブ

お母さんは1年中休みもなく、日々やることだらけ。仕事をしていても、家族のごはんは作りたいし、部屋はすっきりしたいし、ガミガミ・イライラしたくない。毎日を楽しく暮らすコツが満載のこの本は、そんな働くお母さんにぴったりです。



『我がパラダイス』

著/林 真理子
出版社/毎日新聞

高級介護付マンションで働く3人の中年女性。各々親の介護問題を抱える3人は、優雅に暮らす入居者との格差に愕然としてしまいます。介護を題材にしながらも、コメディタッチの文章で仕上げられた上質なドタバタ劇に、林真理子節が光ります。



『かがやく昆虫のひみつ』

著・写真/中瀬 悠太 絵/内村尚志
出版社/ポプラ社

チョウやタマムシなどの昆虫の中には、宝石や金属のような輝きをもつものがあります。どのようにして美しい輝きをつくりだしているのか、昆虫の秘密に迫る一冊。高精細な写真が魅力的です。



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	毎週日曜 午後2時~
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	10日(水) 午前10時30分~
	「みんなdeシネマ」(COLAS平戸ホール) 「トルロとエルフの森」(イギリス:90分)	13日(土)・25日(木) 午後2時~
	ライブラリーコンサート (COLAS平戸ホール) 宮古民謡研究会みゃーくの皆さんによる民謡のコンサート。(予定)	27日(土) 午後7時~
永田記念図書館	おはなし会 (ふれあいセンター児童室)	6日(土)、13日(土)、20日(土) 午後2時~
	こどもの読書週間おはなし会 (ふれあいセンターゆめホール)	27日(土) 午前10時~

今月の休館日 平戸図書館：なし 永田記念図書館：2日(火)、9日(火)、16日(火)、23日(火)、28日(日)、30日(火)
※田平町中央公民館図書室は、工事のため5月20日(土)まで休館しています。

各図書館・図書室連絡先

平戸図書館 ☎22-4017
永田記念図書館 ☎28-0128
南部公民館図書室 ☎27-0047
生月支所図書室 ☎53-2111
田平町中央公民館図書室 ☎57-0207
大島村公民館図書室 ☎55-2985

図書館ホームページ

<http://www.hirado-lib.jp>

携帯電話からQRコードを読み込んで簡単にアクセスできます。



各地域の食生活改善推進員が紹介します！ ②

今月のレシピ

問 保健センター健康づくり推進班 ☎57-0977

『ひじきのサラダ』

【材料(4人分)】

- 乾燥ひじき……………10g
- きゅうり……………100g
- にんじん……………50g
- ロースハム……………30g
- A { サラダ油……………大さじ2分の1
- 酢……………大さじ2分の1
- 薄口しょうゆ……………大さじ2分の1

【作り方】

- ①ひじきは水で戻してゆでる。にんじん、きゅうりは千切りにし、塩もみをしてしんなりさせ水気を絞る。ロースハムは半分に切り、千切りにしさと湯通しする。
- ②①とAを混ぜ合わせる。

【栄養(1人分)】

●カロリー 43kcal ●たんぱく質 2.0g ●脂質 2.7g ●塩分 0.8g



ひじきを食べて健康に

ひじきは、ビタミンK、カルシウム、鉄分などのミネラルを多く含み、血液をきれいにし、高血圧や動脈硬化の予防に効果があります。

また、ひじきに含まれる食物繊維はごぼうの7倍とも言われ便秘予防にも効果的です。



大島支部若芽会 末吉久美子 さん

館浦の「アコギ」

(生月町館浦地区)

問 文化交流課文化遺産班 ☎内線(2278)

平戸島から生月大橋を渡るとすぐに集落が広がります。ここが館浦地区(277世帯)で、古くから漁業の街として栄え、昭和に入ると遠洋まき網漁業の基地港としてにぎわいを見せています。

館浦の町中には、大きなアコウの木があり「アコギ」と呼ばれています。大きく張り出した枝が、周囲の電線や建物などに影響を出し始めたことから、数年前にやむなく枝を半分くらいに落としましたが、昔は高台から集落を見下ろすとすぐに分かるほどの大きさだったそうです。

樹齢は定かではありませんが、現在もアコギを管理している塚本シズエさんは「私が館浦に来た60年前には

すでに大木で、その昔、館浦で火事があった時に延焼を防いだ『神さまの木』なので、今も毎年おまつりしているんですよ」とアコギについて話してくれました。

アコギのすぐ近くに住み、生月町でボランティアガイドを務める西澤安廣さんは「子どものころはアコギの広場に集まって遊んだり、大きな枝の上に乗って実を食べていた」と言い、館浦の世間遺産(世間で遺産だと思われるもののこと)のひとつだと胸を張ります。

館浦のアコギは、町の記憶を今に伝え、次世代へ語り継ぐ宝ものとして、今日も地域の人たちに大切に守られています。

私のまちの宝探し

このコーナーでは、地域に眠る小さなお宝を紹介します。 vol.2



「アコギ」は町のシンボルのひとつになっている。ふれあい広場駐車場から徒歩3分。



にしざわ やすひろ つかもと 西澤安廣さん・塚本シズエさん 生月町